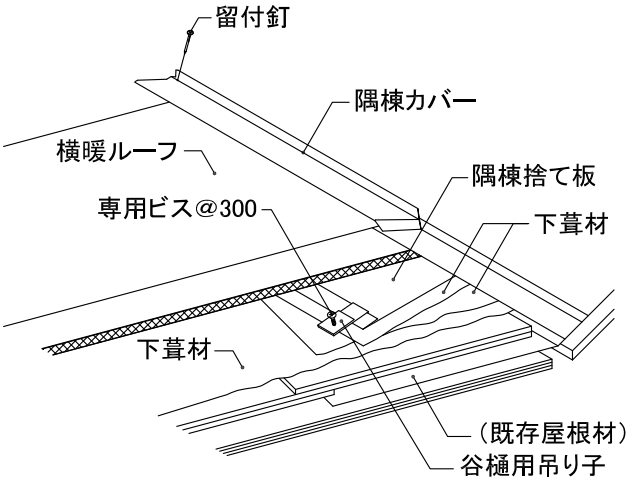
横暖ルーフ	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

6）隅棟部

②隅棟カバー（隅棟カバー急勾配用）

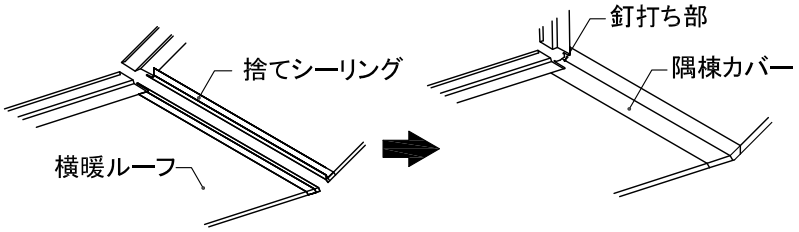
●既存屋根材に、下葺材を張ります。
●隅棟捨て板は隅棟部に谷樋用吊り子を使用して専用ビス（ステンレスドリルビスφ4．4㎜×55㎜）で300㎜以下の間隔で留め付け、図のように加工した横暖ルーフ本体を施工します。本体施工の際は、隅棟捨て板を避けて施工します。
●横暖ルーフ本体の切断部から約10㎜程度の幅でシーリングを施工します。
●隅棟カバーは横暖ルーフ本体の接合部へ差し込み、釘留めします。
●屋根の勾配が2寸5分勾配以上3寸5分勾配未満は隅棟カバーを使用し、3寸5分勾配以上5寸勾配未満は隅棟カバー急勾配用を使用します。

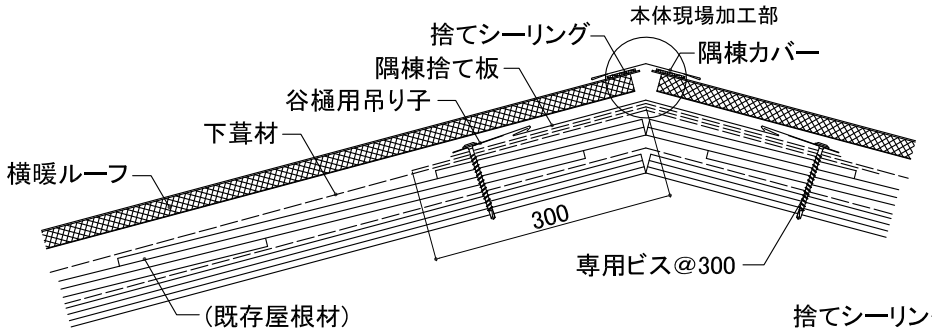


■隅棟カバーの取り付け

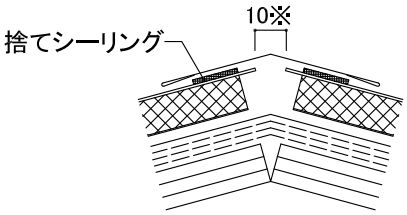
①本体切断部から10㎜程度に捨てシーリングを施工します。

②隅棟カバーを取り付け、釘打ち部を長さ32㎜のステンレススクリュー釘で固定します。





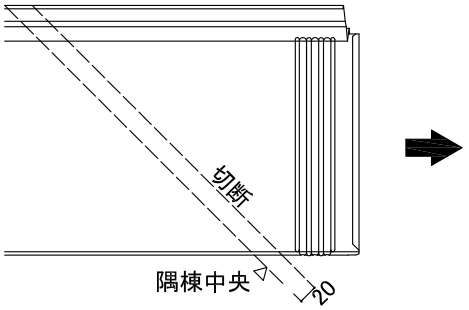
※本体どうしに10㎜程度隙間をあける



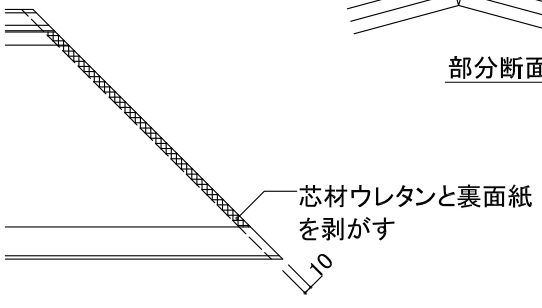
部分断面図

■施工ポイント・現場加工図

●横暖ルーフ本体の隅棟部分は、図のように加工します。



①隅棟カバー中央部の位置で切断します。



②端部から10㎜の位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がします。

※折り曲げ部の詳細は「施工ポイント・現場加工図」（P198）を参考にしてください。